

## 2011年3月期第1四半期決算の概要

### ■ 連結決算の概要

**売上高：** ジェネリック医薬品の増収が寄与。連結売上高は前年同期間比 **12.7%**の増収。  
2011年3月期第1四半期の連結売上高は、経営の最重点事業として取り組んでいるジェネリック医薬品が本年4月から実施された更なる使用促進策の追い風を受け、前年同期間比 **23.4%**の増収となったことが寄与し、同 **12.7%**の増収となりました。

### 利 益： 損益分岐をこえ、増益基調へ。

薬価改定に加え、ジェネリック医薬品の売上構成比が増加したことによる原価率上昇圧力はあったものの、昨年12月に連結子会社化した日本薬品工業株式会社の連結取り込み効果により、売上原価率は **47.4%**（前年同期間比 **0.3**ポイント改善）となりました。  
また、継続して取り組んでいる経費適正化の効果を受け、販管費率は **47.0%**となり同 **3.1**ポイント改善しました。結果、営業利益では同約 **3**倍、経常利益では同約 **3.2**倍、当期純利益では **70.4%**の増益となりました。

### ■ 連結損益の概況

(金額:百万円)

	2010年3月期 第1四半期		2011年3月期 第1四半期			2011年3月期第2四半期予想	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減率(%)	金額	進捗率(%)
売上高	5,754	100.0	6,486	100.0	12.7	14,000	46.3
医薬品事業	5,547	96.4	6,333	97.6	14.2		
その他	206	3.6	153	2.4	△25.8		
売上原価	2,746	47.7	3,074	47.4	11.9		
原価率増減P				△0.3p			
販売管理費	2,885	50.1	3,050	47.0	5.7		
販管费率増減P				△3.1p			
営業利益	122	2.1	362	5.6	約3倍	650	55.7
経常利益	104	1.8	337	5.2	約3.2倍	550	61.4
当期純利益	31	0.5	53	0.8	70.4	150	35.5

## ■ 主要品目の荷離状況 (単体)

(金額:百万円)

	2010年3月期 第1四半期		2011年3月期 第1四半期			2011年3月期予想	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減率(%)	金額	進捗率(%)
医療用医薬品	5,202	100.0	5,793	100.0	11.4	24,940	23.2
ジェネリック医薬品	3,370	64.8	4,158	71.8	23.4	18,640	22.3
アムロジピン	388		599		54.4	2,550	23.5
プラバスタチン	304		320		5.3	1,410	22.7
ボグリボース	239		278		16.3	1,240	22.4
ランソプラゾール	196		322		64.3	1,470	21.9
その他	2,243		2,639		17.7	11,970	22.0
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
主力品計	1,832	35.2	1,635	28.2	△ 10.8	6,300	26.0
ウラリット	858		800		△ 6.8	3,170	25.2
ソレトン	816		695		△ 14.8	2,590	26.8
カルバン	158		140		△ 11.4	540	25.9

本件に関するお問い合わせ先  
 日本ケミファ株式会社 広報室  
 Tel: 03- 3863- 1211

※本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。